

絆づくりになおいっそうの力を



【正木学区】

■世帯数：3,902 世帯

■人 □：7,105 人

■面 積：0.550 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 住民相互の絆づくりのために、年間を通じて様々なイベントを企画・開催している。年間の延べ参加者数は約 1,500 人。
- ・ 子どもと父親のふれあいの場として夏の盆おどり大会を開催。平成 23 年度の秋のバスツアーは、「正木学区のルーツを探す」をテーマとした。冬には子どもから高齢者まで参加できる「もちつき大会」を開催している。

【住民への PR 方法】

各行事ごとにチラシを作成し、各戸配付、組回覧、掲示板への掲示

2 きっかけ、背景

地域の伝統や歴史、文化の伝承のほか、子ども・青少年の健全育成や、高齢者の増加などに対応してするため、住民との情報共有や意識啓発の必要性を感じ、住民相互の絆づくりを目標に様々なイベントを開催している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、女性団体・女性会
計約 20 人

(2) 他団体との協力

正木学区連絡協議会、伊勢山中中学校ブロック青少年育成協議会

(3) 運営協力

PTA や「おやじの会」を通じて若い世代との交流ができてきた。

4 実施のスケジュール

H24 年
8 月 盆おどり大会

11 月 バスツアー

12 月 もちつき大会

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 参加者の増加、住民意識の高まり、交流の深まり、担い手の増加。
- ・ 地域の人たちがお互いに交流でき、喜ばれている。

(2) 苦労した点

- ・ 参加者の確保。参加者を得るため、各役員が住民に参加を個別に呼びかけている。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 活動の継続、他団体との協力が課題。バスツアーをはじめとする地域の各種行事の参加者を拡大するため、広く住民にアピールすることを心がけていきたい。

